

神奈川県南支部のホームページは（[全日本建設交運一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)）をクリックか右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。



2026年5月22日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2026年夏季闘争 No.4

2025年度推進ニュース②7通算418

発行責任者 小島 茂

## 神奈川県本部5.21統一行動を実施！

神奈川県本部は5月21日に定例の統一行動を実施、神奈川県南支部は小島、金崎が参加しました。行動のスタートは9時から川崎市本庁舎会議室で川崎学童保育指導員支部6名を中心に10名で川崎市要請をおこない、市が拒否し続けている国の補助を申請するよう求めました。市側は、こども未来局、経済労働局から5名が対応しましたが、対応は変わらず要請は10時に終了しました。

その後、横浜市内の神奈川県本庁舎会議室に移動し11時からダンプ支部4名を中心に9名が参加して神奈川県要請に臨みました。市側からは7名が対応しました。要請では「白ナンバーダンプ違法論により仕事が激減している。白ナンバーダンプは違法ではない。これまで通り問題がない事を請負者に文書にて周知徹底し白ナンバーダンプの排除をおこなわないように指導するよう」訴えました。

対県要請のあとは昼食休憩をはさみ13時から横浜市庁舎会議室で事業団の仲間も加わって11名で横浜市要請をおこない、市側は9名が対応しました。ダンプ問題では県要請と同様に白ナンバーダンプの排除をおこなわないように各請負者に指導するよう要請し、事業団からは物価高騰でひっ迫する労働者の生活水準を維持・改善するための賃金引き上げと賃金保障の充実を図るとともに、公的就労事業制度を確立して必要な予算措置を講じるように国に働きかけるよう求めました。

15時からは横浜第二合同庁舎会議室で神奈川県労働局要請を実施12名が参加、当局は7名が対応しました。私（小島）からは「2024年に施行されたトラック運転手の時間外労働規制後も過労死認定数は高水準で推移しており、さらなる時間外労働規制が必要」「現場ではトラック運輸の人手不足や高齢化の改善、休憩時のパーキングがいつも満車で停められないなどの意見が多い」ことを伝えました。当局は「貴重なご意見であり本省に伝えます」との回答がありました。行動は16時に終了しました。

※本ニュースの記事と写真は小島委員長が担当しました

